

## 2013年度阪神教協幹事校会第3回（通算第247回）記録

日時：2013年10月30日（水）11時00分～13時00分

場所：大阪産業大学東部キャンパスAMC4F406室

出席（13校17名）

追手門学院大学	（井ノ口 淳三）
大阪音楽大学	（大前 哲彦）
大阪経済大学	（樋口 太郎）
大阪工業大学	（疋田 祥人）
大阪産業大学	（谷田 信一）（西口 利文）（山田 全紀）
関西大学	（原 徹）
関西学院大学	（南本 長穂）
近畿大学	（境 健太）
神戸女子大学	（多畑 寿城）（山田 史子）
神戸女子短期大学	（塚田 みちる）
四天王寺大学	（植田 義幸（八木 成和）
摂南大学	（朝日 素明）
桃山学院大学	（島田 勝正）

議長 山田全紀

記録 樋口太郎

議題

### （1）2013年度第2回幹事校会の記録確認

#### ・修正

p.1（1）次回幹事校会の日程については → 次回幹事校会の日程については

p.2（2）「時期（2014・15年度）担当会長校 → 「次期（2014・15年度）担当会長校

p.2（2）西口利文 → 西口利文氏

p.3（4）第3回課題研究会につて → 第3回課題研究会について

p.4（9）学内決済手続き → 学内決裁手続き

### （2）全私教協理事会および各種委員会報告

全私教協第3回理事会について、西口利文理事より説明がなされた。（番号は配布資料の番号）

3. おおむね阪神教協の企画が受け入れられたが、文科省関係者の話を聞きたい大学が多いのではないかという要望を受けて、文科省関係者に特別報告として60分お話しいただくことになった。

4. 次期会長校は北翔大学。2014年度研究交流集會会場は北海学園大学。

5. 会長校・副会長校・事務局長校についてはローテーションを維持することを確認

した。

6. 専門委員会運営規程を明文化する必要性が提案され、検討することとなった。(修正：規定 → 規程)

10. 『私立大学の特色ある教職課程事例集』刊行のスケジュールについて、総会に間に合うようにすることを確認した。

(3) 全私教協研究交流集会の企画運営について

西口利文理事より説明がなされた。(番号は配布資料の番号)

1. 運営寄付金について、阪神教協から会場校・関西大学に10万円を拠出することを確認した。

2. 集会当日の受付補助担当者の人選について、阪神教協から3名を拠出するべきかどうか。議論の結果、当面、西口氏と大阪産業大学の事務局の方の2名にご担当いただくこととなった。

3. 情報交換会の司会者の人選について、各地区から出すのが慣例。→田中耕二郎氏

6. 3以外の情報交換会に関わる人選について、以下のように決定した。

- ・開会の挨拶：関西大学

- ・乾杯の挨拶：全私の事務局長

- ・閉会の挨拶：阪神の事務局校から →山田全紀氏

4. 会計監査の人選(2名)

- ・幹事校会以外から客観的に見てもらえる人をお願いするのがよい。本日の課題研究会の出席者をお願いするという方向を確認。あとは、事務局に一任することとなった。

6. 集会の開始時の司会 →若槻健氏(会場校：関西大学)

(4) 2013年度第2回課題研究会の運営について

山田全紀事務局長より依頼がなされ、以下のように決定した。司会：全体および第1部・山田全紀(大阪産業大学)、第2部・大前哲彦氏(大阪音楽大学)第3部・谷田信一氏(大阪産業大学)、記録：吉田佐治子氏(摂南大学)

(5) 2013年度第3回課題研究会の運営について

原徹氏より、「教職課程研究に係る事例報告」について説明がなされた。

- ・実地視察大学、課程認定申請大学から報告をしていただくことになった。

- ・12月18日に開催。会場は未定。

(6) 阪神教協レポート編集について

植田義幸氏(四天王寺大学)より説明がなされた。

- ・方針は昨年度と同じとすることを確認した。ただし、昨年度の反省から、ページ数が増えすぎることには注意が必要。

- ・昨年度は掲載しなかったが、書評についてはどうか。『教育概論』という教職のテキストを取り上げることが提案された。書評にするか、図書紹介にするか。田中耕二

郎氏（追手門学院大学）より『教職実践演習ワークブック』もよいのではという提案。書評だと批判も入れるべきだと考えれば、図書紹介にするべきということもありうる。

(7) 2013年度アンケート調査の実施について

原徹氏（関西大学）より説明がなされた。

- ・設問に関する変更点
- ・毎年確認する設問：6、7を毎年確認する設問に入れた。介護等体験のトラブル事例が報告されているため。13はもともと2つあった設問を一つに統一。あまり回答がなされていないため。
- ・介護等体験・教職実践演習に関する設問：21～24の教職実践演習に関する設問をすでに実施されていることを踏まえた書き方に変更。
- ・p.10：「昨年度との変更点について」という説明を加えた。
- ・p.11：「回答にあたってのお願い」という文章を加えた。
- ・設問項目そのものに関する議論として、6、7で介護等体験にしばってトラブル事例を質問するのはやや目立つ印象があるという意見が提出された。その結果、6：「介護等体験の実施にあたって」→「教育実習や介護等体験などに関連して」に変更。  
7：「介護等体験」→「教育実習や介護等体験など」に変更。
- ・3月締め切りで、5月の幹事校会で配布できるようにする。

(8) 事務局報告、幹事校会メーリングリストその他について

西口利文氏（事務局）より、p.15のメーリングリスト名簿について確認がなされた。

山田全紀事務局長より、会員校名簿があればよいのではという提案がなされた。しかし、議論の結果、難しい問題を含むので作らないということが確認された。

(9) 今後の記録担当について

(10) その他

幹事校に新たに加入してもらうための手続きの確認。

新設大学に会員校になってもらうためのアプローチを行う。